

伝統文化の源流に触れる

開催日：2018年
12月2日(日)

■12:30～開場 ■13:00～開演 ■15:30終了予定 ■会場：国立文楽劇場・小ホール

<第1部> 香りを聞く



香道御家流宗家 直門師範 堀井 暁蓉氏

奈良県吉野の出身。1972年共立女子大学卒、香道御家流「香聚会」主宰。香道に志し、共立女子大学において香道を学ぶ。ここで香道御家流第21世宗家三條西克山宗匠に出会い師事、1983年御家流香道「皆伝」を伝授され、直門師範となる。以来香道の伝承・普及につとめると共に、後進の指導に当たっている。また、我が国唯一の香道の財団「公益財団法人お香の会」理事として活躍している。

講師／堀井 暁蓉氏・三井 正昭氏

香道は、茶道・華道と共にわが国三大伝統文化として、室町時代から今日まで約500年に亘り伝承されている芸道です。

香道の「道」とは人の道という意味です。香道は、人格涵養の勝縁良媒であると共に、日本文学とも深いかかわりを持っています。しかしその一方で、今日「日本人に欠けているのは『心の豊かさ』」とも言われています。幽玄深遠な伝統ある香りの文化に触れながら、精神文明の立ち遅れを取り戻しつつ、日本文化を深く理解するきっかけを見つけてみたいと思います。

公益財団法人お香の会 事務局長 三井 正昭氏

銀行退職後、コンピュータ会社の代表取締役社長を歴任。2003年法相宗大本山薬師寺に奉職、同寺事務長を務める傍ら「公益財団法人お香の会」事務局長を兼任、以来香道の研究に入る。香道の伝承と普及には、次代を担う子どもからと考え「親子香道教室」をはじめ。北海道から九州まで全国各地で体験香席を開庭して、香道の普及につとめている。

<第2部> 尺八・箏演奏会



なかむら まさき
中村 仁樹氏



おおかわ よしあき
大川 義秋氏

中村 仁樹氏(尺八・篠笛演奏家、作曲家)

愛媛県宇和島市出身。宇和島文化大使。17歳で尺八に出会い、その魅力に魅せられ東京藝術大学音楽学部邦楽科尺八専攻に進む。尺八本来の響きを生かし、様々なジャンルを自在に行き来し活動する。20回以上の海外公演、メディア出演多数。10枚のアルバムを発表。30枚以上のアルバムに参加。春日大社をはじめ、社寺仏閣で100回超の演奏を重ねる。ソロアルバム「祈り」発表。エイベックスより「崎山つばさwith桜men」としてデビュー。デビューシングル「月花夜」がオリコンチャート初登場2位を獲得。自身の作詞作曲の「螺旋」がオリコンチャート初登場6位を獲得。大自然や自己の内なる世界を投影したオリジナル曲は各局で放送され、高い評価を得ている。

出演／中村 仁樹氏・大川 義秋氏

年の瀬に向けて慌ただしく時が流れる師走。ゆるりと邦楽をお楽しみいただきます。和の音色に浸りながら、美しくおだやかなひとときをお過ごしください。

演奏曲／「壺越一楽章」・「花の咲く頃」・
「MY FAVORITE THINGS」・
「古伝巢籠」・「壺越三楽章」・
「春の海」

※なお、曲目は当日変更になる場合がございます旨ご了承ください。

大川 義秋氏(箏男kotomen)

2011年に発生した東日本大震災後、原発事故の影響により福島県双葉町から関東に避難。転校先の高校にあった廃部寸前の邦楽部にて「箏」と出会う。

第23回くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞&文部科学大臣賞受賞の経歴を持ち、古典の研鑽を積む傍ら、邦楽のみならず様々なジャンルの楽曲を独自のアレンジと自作のアイドル風衣装により、国内外問わず斬新に演奏。昨年には津軽三味線の名取を取得し、「北村貴秋」の名で音楽活動の幅を広げる。

震災時に支援して下さった世界の方々へ御恩を返す思いを込め、箏音を届けている。



- 会場／国立文楽劇場小ホール(大阪市中央区日本橋1-12-10)
最寄駅：堺筋線・千日前線「日本橋」駅下車 7番出口より徒歩1分
- 参加無料
事前にハガキもしくはメールに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。
- 主催・連絡先／一般社団法人老人文化会議
(〒550-0006大阪市西区江之子島1-7-3)
TEL:06-6444-2777 E-mail:info@eldernets.or.jp